

「みんなで遊ぼう！交流会」

1. 活動の目的

10/28 のパパのがっこう in ながさきをきっかけとし、継続してパパの子育て参画促進とパパ同士の交流を進めるため、11月から毎月1回ずつ連続で交流会を開きました。

2. 活動期間、場所、活動内容、参加者数



①2018. 11. 25 (日) 10:30~12:00

長崎シビックホール (長崎市常盤町1-1) <http://civichall.jp/>

【室内で楽しむパパ子遊び アクティブな体遊びと工作】

音楽に合わせて身体を動かした遊び、ポスターで作るジャンボ紙飛行機づくりと紙飛行機飛ばし競争、パパと子どもと一緒にお菓子を食べながら子育てなどについて話す茶話会を開きました。

参加者 39 名

②2018. 12. 8 (土) 10:30~11:30

長崎市緑が丘地区子育て支援センターピクニック (長崎市若草町9-5) <http://picnic93.blog50.fc2.com/>

【クリスマス☆親子遊び パパならではの遊び】

イエス誕生の物語を絵本で紹介しながら、パパが馬や船になって遊んだり、ギター演奏でのわらべ歌遊び、サークルになって参加した感想や子育ての大変さ、楽しさなどをシェアしました。

参加者 70 名



③2019. 1. 27 (日) 10:00~14:00

長崎市民の森 木工館付近 (長崎市茂木町)

【親子森あそび もりのうち】

長崎市で活動しているボランティア団体「自然共育コミュニティ森のわ <http://morinowa.org/>」さん主催の 野外体験活動に参加しました。森の中を探検し、木登りなど五感を使って遊んだり、自分たちで切ったお野菜でスープを作ったりしました。

参加者 30 名

3. 活動の成果

○参加者の感想

- ・平日の子育て支援センターに行ったらママばかりでアウェー感が……。定期的にこのようなパパ交流会があれば、安心して参加できます。
- ・他のパパと話をすることができたのがよかったです。
- ・いつもは仕事で遅くなり子どもから「パパ嫌い」と言われるが今日は一緒に遊べて子どもも満足してます。
- ・タオルブランコは子どもがとても喜びました。遊び方がマンネリ化していたので新しい遊び方を知ることができてよかったです。
- ・まだ子どもが小さくて幼稚園に行っていないので週に1回はママを休ませるために子どもと一緒に出掛けています。このようなパパ交流会は安心して参加できるのでありがたいです。
- ・パパ以外のおじちゃんと遊べて楽しかったと子どもが言ってました。
- ・主催者とお客さんという感じではなく、楽しそうに火おこしをしたパパさんのように、得意な人が得意なことをやるという「みんなでやろう」という感じがとてもいいと思いました。

○分かったこと

- ・ママに「パパも連れてきて」と声掛けをすると多くのパパが参加しました。
- ・他人の中で、子どもと一緒に音楽に合わせて踊ることは、パパには敷居が高いです。
- ・紙飛行機づくりなどカンタンな工作だとパパは積極的に参加します。
- ・ギターを弾く、火おこしをするなどパパの趣味を生かしたプログラムだとパパが楽しく参加できます。
- ・自ら他の家族に話しかけるパパママが少なかったため、本会会員や子育て支援センターのスタッフさんが子どもを媒介にして話しかけてることが多かったと感じます。
- ・女性がパイプ役の場合、パパ同士は繋がりやすくなるようです。
- ・パパたちも他のパパの子育てのことを聞きたい、ママとの関係をどう作っていいのか相談したいというニーズがありました。それがなかなか顕在化しないので、支援者が積極的にアプローチしていくことが必要と考えられます。
- ・一冊の絵本をいろんなパパが回し読み聞かせすると面白いです。

○今年度の展開

長与町でもパパたちに積極的に交流してほしいと2月24日(日)ファミリーデーとして町主催の交流会を開くことになりました。本会メンバーも参加して長与のパパママ参加者と一緒に遊び、参加者同士を繋いでいけるようにサポートします。